



竹内 稔さん



【洋画】遠藤董先生顕彰会長賞

いなか 田舎

昭和四十七年から蛙を描き続け、毎年出品しています。この蛙は、モズが梨の木に刺していたものがミイラ化したもので、表情には苦しみ、怒り、最後の喜びといったものが現れており、人間の顔にも通じるものがあるが、魅せられています。製作中は、他のことも考えず夢中になっています。



内田亜希さん

【デザイン】鳥取ユネスコ協会賞

つゆどき 梅雨時

初めて出品して賞をもらって……自分がなんて……でもうれしい。普段は、高校の美術部で活動しています。作成始めたのがちょうど6月だったので梅雨でイメージするものを描きました。もちろん大好きな虹も。本当は、紫陽花をもっとたくさん描きたかったし、色塗りもしっかりできなかったし、ちよっと心残りな作品なんです。

シリーズ 市民美術展入賞作品紹介  
わたしの作品



河合紀美代さん

【書道】鳥取商工会議所会頭賞

わかなつむ

かな書道は、京都から引越してきた頃に展覧会で見て惹かれことがきっかけとなり、また夫の勧めもあったことから始めました。かなは、短冊とか扇面、色紙などのきれいな料紙に筆を運ぶので、雅な感じがしてステキなんです。受賞は、うれしいと言っよりもちょっとプレッシャーですが、これからも続けていきたいと思っています。



【写真】市展賞

さむいとき



安本定男さん

以前働いていた会社の人に勧められ、気楽な気持ちで写真を撮り始めました。日が差し込んでいた冬のある日、近所の猫たちが暖を取っている様子がかわいらしく感じシャッターを押しました。猫をこっちに向かせるため、ネズミの物まねをしたり結構大変でした。身近なものを自然な表情でうまく写せたいなと思っています。